

FURANO CURRY NET

北海道ふらの発 地元の野菜を使ったカレーの町の応援団

2005.10.01 Saturday

「食」を生かした地域づくりフォーラム ～富士宮やきそば学会 渡辺会長 来富～

author : curry-net

上川支庁主催による「食」を生かした地域づくりフォーラムが30日、旭川地場産業振興センターで開催され、当研究会の飯沼会長をはじめ、下川・旭川・美瑛で食によるまちおこしを展開するグループの代表者らがこれまでの取り組みや課題について意見交換した。

基調講演では、当研究会スタッフが食によるまちおこしの先進地として昨年視察した静岡県富士宮市の「富士宮やきそば学会」の渡辺英彦氏が、路地裏に店を構え、市民に慣れ親しんでいた「やきそば」に着眼。麺(蒸し麺)や肉カス、削り粉などの特徴を発見、中心街活性化の糸口になると平成12年に市民グループを設立。行政予算「0」で行動力、企画力を生かし、市内に160店舗あるやきそばマップの作成やビール会社・道路公団などとコラボし、PR資料の作成、また、親父ギャグ満載で遊び心も持って地域間交流を図るなど、今やご当地メニューによるまちおこしの仕掛け人としてカリスマ的存在。現在はNPOを設立し、やきそば関連で2千万円を超える売上、専属の事務職員を配置する。また昨年「富士宮やきそば」の商標登録を受け、名義使用のロイヤリティーで3百万円/年の収入を得るなど、「富士山」と同様に「やきそば」=「富士宮市」と知名度・経済効果を高め、地域ブランドを確立している。

講演のなかで マスコミが注目しない企画イベントは開催しない。学会はセールスプロモーションに徹する。これからは親父ギャグの時代、遊び心をもった活動が基本 学生のエネルギーを生かすなど、これからの活動のキーワードとなる提言を行った。

講演後、富良野市に訪れ、ラジオ出演・懇親を深め、引き続き **富士宮市と富良野市で食を通し**

て交流(華麗同類?)を深めていくことを確認した。

お知らせ

富士宮やきそば学会の渡辺会長が「**ラジオふらの**」に出演！

ダジャレ満載のトーク。お楽しみに～

■放送日:10月3日(月)午前10時～12時

■番組名:モーニング美々



富士宮やきそば学会 会長 渡辺英彦氏



富士宮やきそば【愛称:う宮(うみゃー)】の“のぼり”



旭川ガス展 2005 で試食提供された「富士宮やきそば」



「富良野カレー」を食べる渡辺会長 魔女のスプーンにて

